

ヒョウホンムシ

特徴と生態

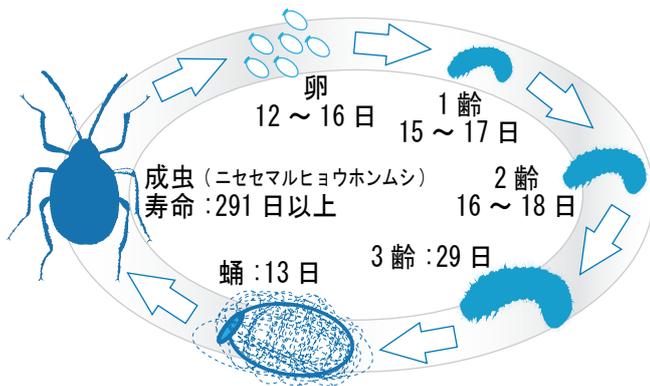


- 成虫体長 … 1.9 ～ 5.2 mm
体色 … 淡褐色～赤褐色、暗褐色、黒褐色
- 幼虫体長 … 5 ～ 8 mm程度
体色 … 白色、乳白色
- 成虫は脚、触角が長く、一見クモに似ていますが、動作は鈍く、後翅が退化している種もあり、移動能力に欠けています。また、1世代に要する期間が長い種や、産卵数が少ない種があり、発生までに長期間を有することがあります。また、光に誘引される種もあります。

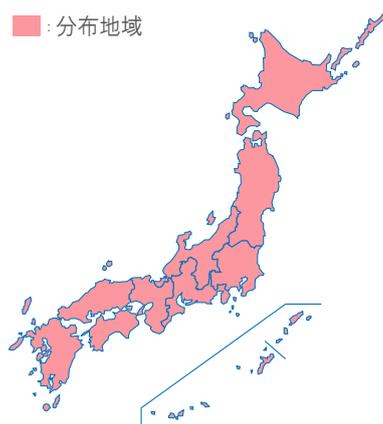
分布と発生場所

- 日本全域に生息し、一般的に成虫は、初冬から春にかけての寒い時期に出現します。家屋害虫として認められる種は、冷涼、湿潤な環境を好み、最適生育温度が25℃以下にある種が多くみられます。基本的な生活スタイルは、盗食寄生で、鳥類、昆虫の巣などの住処に侵入して、貯蔵食物、排泄物、巣材などに依存した寄生生活をするものが殆どです。

● サイクル図



● 分布図



● 発生時期



被害

- 動植物標本、昆虫標本、各種貯蔵食品、毛織物、羽毛、皮革、薬草、動物死骸、貯蔵種子等の動植物質を食害します。主に幼虫が加害しますが、成虫も加害する種が存在します。シバンムシ類に比べ被害はかなり少なく、稀に発生して問題になることはあっても、普段は見かけることは殆どありません。

駆除

- 貯蔵食品、ペットフード、こん虫の死骸などが発生源となるため、清掃除去することが必要です。また、密閉容器に入れて管理することも重要です。成虫の駆除は市販のエアゾールなどで駆除できますが、倉庫内などで多発生した場合は、専門業者に駆除してもらいましょう。